

大強化スル迄コノ彈壓ヲ免レントスル手段ヲトルコトハ果シテ妥當ノ戰デアラウカ、コレコソ永久ノ退却ヲ宣告スルト少シモ異ナラナイ、差シカ、ル兼圖ノモトニカ、ル方向ニ吾ガ全國會議ヲ動かサントスルモノアラバ遺憾ナカラ敗北主義者トシテ烙印ヲ捺サルヲ得ナイ、同時ニ亦彈壓ハ現在ノ客觀的情勢ノ下ニ於テハ必然的現象ダカラ致シ方ナシト、暴壓反對ノ鬭争ニ消極的態度ヲトル者アリトスレバコレマタ立派ナ敗北主義者デアアル、

カ、ル、吾々ハ現在ノ彈壓ニ對シテカ、ル見地ニ立ツ時千葉縣柳及關東地方代表者懇談會ニ集ツタ同志諸君ノ態度ニ反對セザルヲ得ナイ、

同時ニ退却的敗北的傾向ヲ生ムニ至ルマデコレラノ縣柳評ニ對シテ充分ナル彈壓反對鬭争ヲ指導セスカカル傾向ガ生ジタカラト云ツテ直チニ排撃ヲトル常任全國委員會ニ對シテ贊同シ兼不、吾々が自己ノ身体ニ故障ヲ生ジタ場合、誰デモガ能力ノ限り藥ヲツケ醫

師ニ診セ療養シテ萬止ムヲ得ザルトキニ非常手術ヲ施スノデアアル、

全會本部カ頭腦デアレバ、地方組織ハ手、足、胴体デアアル、

ナル程全會本部暴壓ニ抗スルタメニハ生産點タル部落内ノ活動ヲ活潑ニシ鬭争ノ過程ニ於テ強力ナル自衛團ヲ作レト立派ナ方針ヲ樹立シ全國ニ指令シテキル、シカシカ、ル方針ニ依ツテ現在彈壓下ニ呻吟シツ、アル地方組織ノ再建、回復ヲ計リ得ルト信ズル事ハ余リニモ公式的デアアル、少クトモ彈壓ニ直面スル地方組織ニ對シテハソノ情勢ニ應ジタカンフル注射ヲホドコスダケノ努力ヲ充分拂フベキデアルト思フ、

然ルニ最近暴壓ノ受難ニ面シテキル各組織ニ對シテ賢明ニシテ機敏ナル對策ヲ講ジタルコトヲ吾々ハ不幸ニシテ聞カナイ、コレデハ全國的暴壓反對鬭争ガ力強ク起シ得ルコトハ全然不可能デアリソノ反對ニ受難ノ組織ハ益々萎縮、沈滞セザルヲ得ナイ、

吾々ハ彈壓ニ對スル關東地方代表者懇談會ノ同志諸君ノ態度ニツ